

東京 肝臓のひろば

令和7年(2025年)12月号 第269号

特定非営利活動法人 東京肝臓友の会

〒161-0033 東京都新宿区下落合4-27-5-201
電話 (03) 5982-2150 振替 00120-6-40564
FAX (03) 5982-2151 口座名 東京肝臓友の会
<http://www.tokankai.com>

(公財)宮川庚子記念研究財団 第30回肝臓病医療講演会

慢性肝疾患の 自然経過を変える

～薬と生活習慣による最新の医療戦略～

場所：連合会館401会議室(千代田区神田駿河台3-2-11)

日時：令和7年9月28日(日)

14時～16時15分

講師：黒崎 雅之 先生
(武藏野赤十字病院 病院長)



司会(米澤敦子) NPO法人東京肝臓友の会の米澤敦子です。今日は武藏野赤十字病院長の黒崎雅之先生によるご講演で「慢性肝疾患の自然経過を変える～薬と生活習慣による最新の医療戦略～」についてお話をいただきます。

みなさん、先生のことはよくご存じだと思いますが、簡単に先生のプロフィールをご紹介いたします。1987年東京医科歯科大学をご卒業後、同医学部第二内科に入局、武藏野赤十字病院消化器科副部長、同部長、同院副院長を経て2024年より同院院長になられています。それでは黒崎先生、どうぞよろしくお願ひいたします。

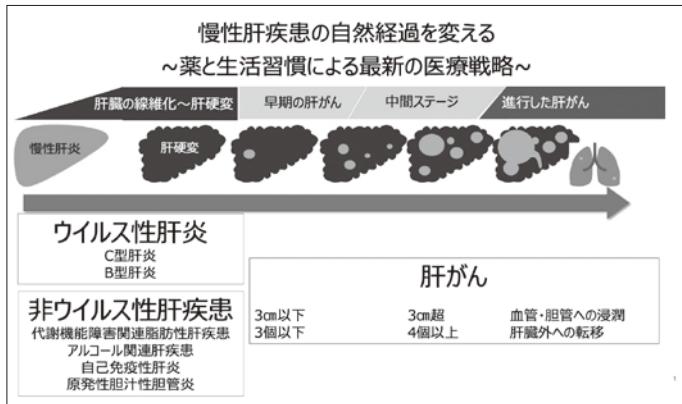
黒崎 武藏野赤十字病院の院長をやつております黒崎です。今日は慢性の肝臓病の自然経過を変えるということで変えられます。予防や治療をすることでおられるようになつたということをお伝えいたしますね。

私は1987年の卒業で、実は今日が誕生日で63歳になります(拍手)。

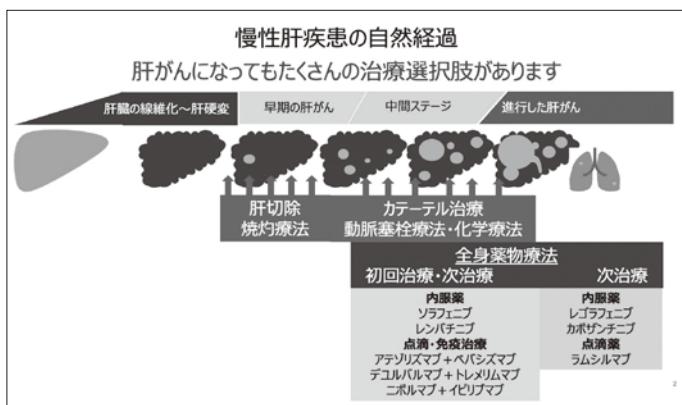
私の人生の前半は大学で研究をやらせていただいて、論文もたくさん書いた時期もありましたが、高度の急性期病院である武藏野赤十字病院に移ったのが2003年で、それから22年間は多くの患者さんを見てまいりました。病院で働くのは非常に大変なことで、救急車を見ながら、患者さんを見ながら、研修医を教育しながら、毎日楽しく過ごしております。

それだけではなくて私は肝臓の病気を研究することが好きで、多くの仲間と多くの論文を書きながら、患者さんにとって大事なことを調べて研究しています。去年、日本肝臓学会の会長を務めさせていただいたのですが、この写真をご覧ください。「I LOVE LIVER = 私は肝臓が大好きです」ということで、これからみなさんに肝臓についてのお話をいたします。

◆肝がん

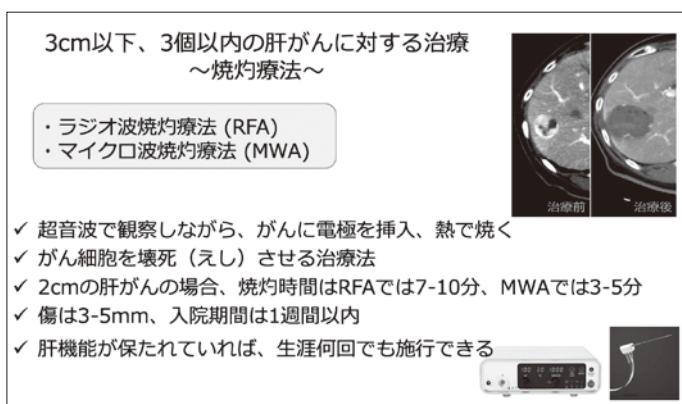


「慢性肝疾患の自然経過を変える」と
テーマに掲げましたが、何もしないと
肝臓の病気はちょっとずつ進んでしま
いますが、それをなんとか止めるには
どうすればよいか、というのが本日の
テーマです(図1)。

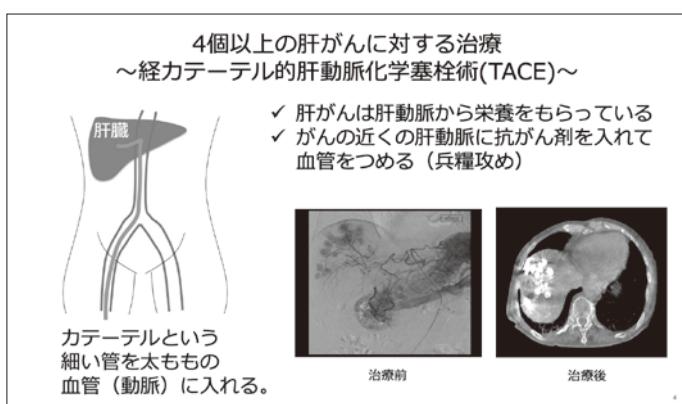


「慢性肝炎から肝硬変になつて、がんができたら終わりだ」と思われるかもしれませんのが、実はそんなことはないんですね。がんにならないように予防するほうが、もちろんいいのですが、がんができるもいい治療法があるということをまず最初にお話いたします。

「がんを予防しましよう」と言いすぎると、「肝臓がんになつたら私はもう終



「がんが見つかりましたが、まだ早期
2)。 焼灼療法というのもあります。今は手
術ができないような患者さんでも、飲
み薬や点滴でがんが消えることがあります。
それだけ進歩しているということをまずお伝えしたいと思います(図



「なので手術しましよう」というのも、もちろん1つの手段なのですが、もう一つの手段として、体の外から針を刺して熱で焼くラジオ波治療やマイクロ波治療があります(図3)。5ミリくらいの小さな傷がつきますが、治療時間は10分くらいで完全にきれいになります。1週間くらいの入院で、再発しても何回でもできます。

ただしがんの数が多いと、針を刺して治療できないので、足の付け根からカテーテルという細い管を入れて、肝臓の中に抗がん剤を入れる冠動脈化学塞栓術で治療します(図4)。

これらは昔からある治療法ですが技術は進歩していく、新しい塞栓物質であります。M1ビーズを使用した治療法もあります。DEB-TACE(図5)。

一番進歩がすごいのが化学療法の薬です。左から飲み薬、飲み薬、飲み薬、点滴、そして免疫療法という薬も出てきています。どんぐん薬は進歩しています(図6)。

ざつくりとお話ししますと、抗がん剤は辛い治療でした。なぜかといふと、抗がん剤はがん細胞によく効きますが、まわりの正常な細胞にも障害があるから副作用がきつかったんですね。新しい薬はがんだけを狙いうちする薬

で治療できません。しかし効果も高いんです。しかも効果も高いんです。

がんの治療をするときに、ほがらかで元気な人のほうが長生きするというデータがあります。これは科学的にも証明されているんですね。だから免疫が治りやすいわけです。その免疫の力とも似ているのですが、がん細胞をやつて治るようになります。

例えば大きながんがある患者さんで残念ながら手術できなかつたので、薬

で治療しました。するとがんは真っ黒になつて壊死して小さくなり、そこで動脈塞栓療法をしたら、ますます小さな阻害物質を抑える薬など、いろいろ組み合わせていくと、がんは薬

で治療できるようになりました。

がん細胞を攻撃するリンパ球を元気にする薬や、免疫を抑え込もうとしている阻害物質を抑える薬など、いろいろ

くなつて、ちょっとだけ残つたところをラジオ波で焼いたんですね。大きかつたがんはなくなりました。大きながん

で元気な人のほうが長生きするというデータがあります。これは科学的にも証明されているんですね。だから免疫が治りやすいわけです。その免疫の力とも似ているのですが、がん細胞をやつて治るようになります。

例えば大きながんがある患者さんで残念ながら手術できなかつたので、薬

で治療しました。するとがんは真っ黒になつて壊死して小さくなり、そこで動脈塞栓療法をしたら、ますます小さな阻害物質を抑える薬など、いろいろ組み合わせていくと、がんは薬

新しい塞栓物質(M1ビーズ)を使用したDEB-TACE

- ✓ がんに流れる血管に、薬を含んだ「マイクロビーズ」を流し込む治療
- ✓ ビーズは「薬のカプセル」のようなもの
- ✓ がんの中で長時間じっくり薬を放出する
- ✓ 同時に血流を止めることで、がん細胞に栄養を行き渡らなくする

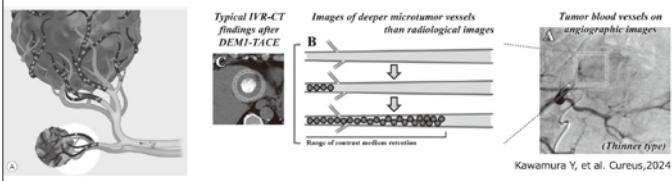


図5

肝切除・焼灼療法・TACEの治療効果が期待できない肝がんに対する治療～分子標的薬治療～

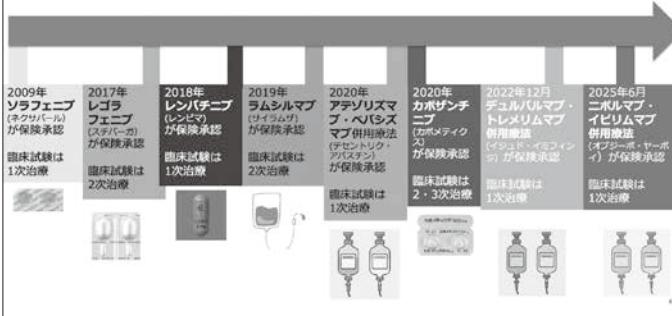


図6

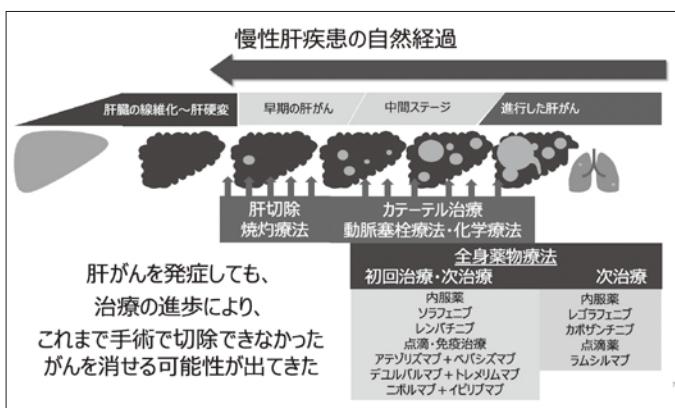


図7

んに免疫療法をしたら、どんどん小さくなり、血管の中に入ったがんも消えて、がんは4年間でなくなつたこともあります。別の患者さんでも大きながんが血管内に入つて、残念ながら手術はできなかつたのですが、免疫療法をしたらどんどん小さくなつて、完全に切除することができてがんがなくなつました。これまで手術できなかつたがんも、消せる可能性が出てくる、ついにそのような時代がきたんですね。(図7)。

治療していると、このような患者さんが目の前に何人も何人も出できます。病気が進むのをなんとか抑えたいと治療に励んでいます。がんになつてしまふということは残念なのですが、がんになつても手遅れではありません。今はがんができる、いろいろな治療を駆使すれば、がんを小さくして治すことがかなりの確率でできるようになつています。そういう時代になつたんだと思つてください。

日本、あるいは世界で肝臓がんは増えているのか減つていいのか、データ

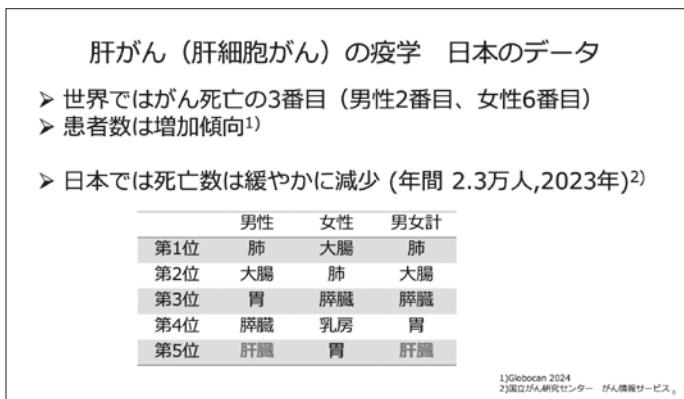


図8

をお見せします（図8）。がんによる死の原因で見ると、日本では肝がんは男性が5位、女性が7位となつていて、両方合わせると5位なので、やはりがんで亡くなる人のなかのある一定数は肝臓がんなのですが、緩やかに減つてきています。

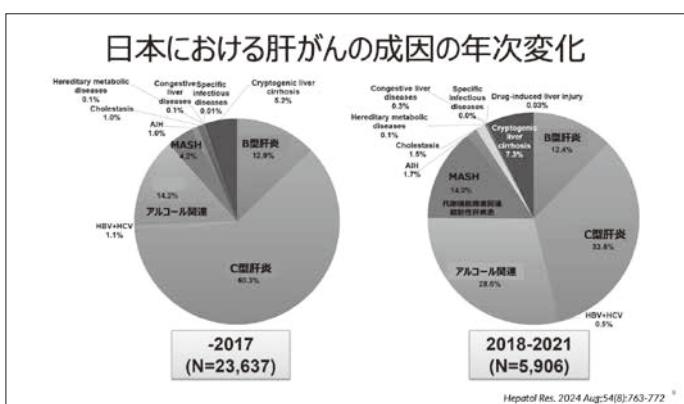


図9

肝炎はあまり減つておらず、10%から15%いるんですね（図9）。顕著なのはC型肝炎が原因でがんになる人はどんどん減つてきています。増えてきていたのはアルコール関連の肝疾患です。お酒を飲むことで肝臓が悪くなつてがんになる人と、MASH（代謝機能障害関連脂肪性肝疾患）という昔で言うところの脂肪肝からがんになる人が増えています。

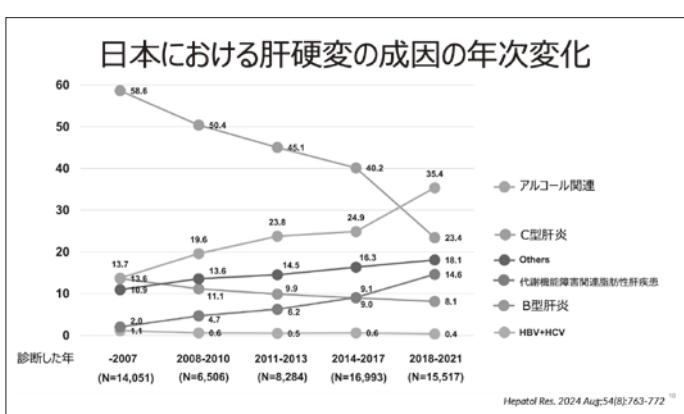


図10

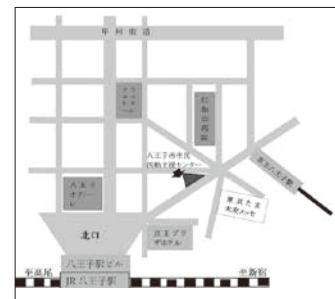
肝炎は治療がでていますが、B型肝炎の治療はまだ完全にウイルスを排除することはできないので、がんの発生は大きくなは変わらず、アルコール関連とMASが増えています（図10）。

幸いなことに日本では全体的に肝臓がんによる死亡が緩やかに減つています。日本における肝硬変や肝がんの原因は治療がでています。昔と今を比べると、C型肝炎は治療がでていますが、B型肝炎の治療はまだ完全にウイルスを排除する

◆八王子肝友会
「何でも語らう会」

出席者の近況や治療・薬剤等についての情報交換を行います。

日時 2月8日(日)10:15~12:00
場所 八王子市民活動支援センター
八王子市旭町12-1 ファルマ802ビル



JR中央線

八王子駅北口 徒歩約5分

京王線

京王八王子駅中央口 徒歩約3分

▼▼ 情報 BOX ▼▼

問合せ 東(ひがし)
費用 申込 不要 無料
Tel 090-4122-6229
会のHP: <https://www.yhigashi.com.zaq.ne.jp/>
歌集】の「色かえ



今号の表紙絵 (再掲載)
常盤橋
（東京都千代田区）
日本橋川に架かり、常盤
橋公園から日本銀行側に通
じる橋。大正二五年（一九三六）
年二月の架橋。
江戸時代の常盤橋門の
跡にある。始めは天正二八年
(一五七〇年に架けられた
といわれ、三代将軍家光の
頃までは大橋とも浅草口
橋とも呼ばれていた。改名の上
意を受けた町年寄奈良屋市右衛
門は、宿宿の浪人から「常盤」
の「色かえ」を得て、これ
を献上。「金葉和歌集」の「色かえ」

（千代田区ホームページより）
貴重な石橋である。
現在の石橋は、松材に用
いた石を使って、明治一〇
二八年に架けられた。
神田川の眼鏡橋がなくな
り、皇居の「石橋」とともに
生き絵と文 佐藤廣士

東京肝臓友の会 事務局 冬期休暇のお知らせ

東京肝臓友の会事務局は、

12月26日(金)~1月7日(水)まで、冬期休暇を
いただきます。

FAX(03-5982-2151)はお受けいたします。
よろしくお願ひいたします。



東京肝臓友の会 活動日誌

10月・11月

10月	電話	30件	メール 2件
11月	電話	34件	メール 0件

- | | | | |
|-------|---|-------|--|
| 10/2 | 「東京肝臓のひろば」268号入稿、米澤
神奈川県肝炎医療コーディネータースキルアップ研修会、江口研究班として
Web参加 | 10/30 | NHK「クローズアップ現代」Web取材、米澤
「東京肝臓のひろば」268号納品、発送作業、全員
東京都障害者福祉会館、ビア相談、米澤 |
| 10/3 | 日肝協代表者会議準備委員会Web
川田、塙田、甲賀、萩部、古川、山田、米澤
日肝協会計監査、塙田、岡田、山田、萩部、米澤
治験アドバイザリー座談会「寄合」事前web会議 古川 | 11/1 | 日肝協Web代表者会議、幹事会、塙田、萩部、山田、古川、米澤事務所参加 |
| 10/4 | 東京都肝炎コーディネータースキルアップ研修会確認テスト締め切り、米澤
B型肝炎部会 山田、萩部、阿曾@ハイジア | 11/3 | 3団体偏見差別PT@半蔵門、及川、阿曾、米澤
自己免疫性肝疾患 地域ブロックweb会議 安達、安齋、古川 |
| 10/5 | PSC医講演会 公開相談会 講師中本伸宏先生、古川 | 11/4 | アフリカ実行委員会Web会議、
日本研研「有識者会議」Web打ち合わせ、米澤 |
| 10/7 | 10/10放送「大人のラヂオ」オーブニングエンディング収録、米澤
アッラ・ワイセミナー聴講、米澤
あかつき印刷 来訪、冊子印刷相談 古川
第2回討駁アンバスター座談会「寄合」登壇 古川 | 11/7 | 東京都予算要望書回答、川田、甲賀、萩部、米澤
3団体偏見差別PT Web会議 米澤
ブルーラボWebミニーティング、米澤 |
| 10/9 | 八橋見意見交換会、八橋先生来訪、及川、山田、東肝事務所 | 11/9 | 11/243団体偏見差別PTシンポジウム打ち合わせ、米澤 |
| 10/10 | 「東京肝臓のひろば」268号ゲラ着チェック、米澤
BI MASLD肝脂肪肝の啓発について意見交換 萩部、古川 | 11/11 | 大原薬品工業㈱来訪、治験について、米澤
ラジオNIKKI「大人のラヂオ」11/14放送分オーブニングエンディング収録、
米澤 |
| 10/11 | AMED Web報告会 古川、米澤 | 11/13 | 佐賀県肝炎医療コーディネーター養成研修会講演データ締め切り、米澤 |
| 10/14 | ひろば268号校正原稿締め切り、米澤
都議会共産党面談、東京都への予算要望書説明、川田、上大田、米澤 | 11/14 | 滋賀県肝炎医療コーディネーター養成研修会、米澤江口班として参加 |
| 10/15 | 佐賀県、江口病院ピアサポート外来、米澤
日肝協代表者会議 来賓(厚労省)木村室長挨拶収録、川田、萩部 | 11/17 | 11/243団体PTシンポジウム、パネラーデータまとめ、米澤 |
| 10/16 | GPIIミーティング、米澤
日肝協常任幹事会会議、川田、野田、米澤 | 11/18 | 島上研究班会議@スコーションコンファレンス、米澤 |
| 10/17 | ラジオNIKKI「大人のラヂオ」11/14放送分収録、ゲスト「知って肝炎プロジェクト」スペシャルボスター石川ひとみさん、米澤 | 11/19 | 佐賀県江口病院ピア外来、米澤
八橋研究班作業部会、浜松町会議室、米澤
江口研究班@電話相談AI解析 大阪大学大学院「健康・医療心理学研究室」平井先生、まとめ米澤 |
| 10/19 | 宮川則人主催ミニ講演、相談会講師四柳宏先生
10/24肝炎対策推進協議会前の日肝協幹事会、川田、野田、古川、萩部、米澤 | 11/21 | 11/29兵庫県肝炎医療コーディネーター養成研修会データ締め切り、米澤 |
| 10/20 | 3団体肝炎フォーラムWeb、川田、萩部、米澤 | 11/24 | 日本誌研「第2回有識者会議」患者の立場出席、米澤
3団体偏見差別PTシンポジウム「人権教育について考える」@星稜会館半
及川、阿曾、加藤、米澤 |
| 10/21 | 日肝協代表者会議 来賓(日本肝臓学会)竹原理事長挨拶収録、川田、萩部、米澤 | 11/25 | ノボノルティイクスファーマ㈱Webミニーティング、米澤 |
| 10/23 | 自己免疫性肝炎患者アンケート、ダイジェスト版作成打ち合わせ、ユニプロ
フォーム来、防古川 | 11/27 | 八橋班12/6開催シンポジウム打ち合わせ、及川、米澤
2026年肝臓学会総会抄録締め切り、及川、米澤 |
| 10/24 | 第35回肝炎対策推進協議会開催、萩部出席、米澤参加
八橋研究班作業部会、及川、米澤 | 11/28 | 東京都肝炎コーディネーター多職種交流会Web打ち合わせ、米澤
日肝協ロビー活動、川田、野田、萩部、米澤
3団体肝炎フォーラム、及川、阿曾、米澤 |
| 10/25 | 自己免疫性肝炎東北ブロック立ち上げ交流会@仙台 安齋、古川、米澤 | 11/29 | 兵庫県肝炎医療医療コーディネータースキルアップ研修会、講演、パネルディス
カッション 米澤
PBC・AIH患者交流会 安齋、古川 |
| 10/27 | 日肝協ロビー活動、川田、野田、米澤 | 11/30 | 東京都障害者福祉会館、ビア相談、米澤 |
| 10/28 | 佐賀県肝炎医療コーディネーター養成研修会パネルディスカッション収録、@
佐賀大学 米澤 | | |

編集人

東京肝臓友の会
障害者団体定期刊行物協会

○三(五九八二)二二五〇

○三(六一七七)九六一

〒161-0033

東京都新宿区下落合四一七一五二〇一

〒157-0072

東京都世田谷区祖師谷三一七一〇一

○一

東京肝臓友の会主催 東京都委託事業

肝臓病と内視鏡診療について

日時

2026年1月31日(日) 13:30~15:00

会場

田町グランパークカンファレンス 401ホール
東京都港区芝浦3-4-1

講師

災害医療センター 光学診療部長 消化器内科部長
板倉 潤先生

申込

挟み込みチラシを参照

参加無料
定員100名

同病者による面談相談

☆肝臓のこと、生活のこと、なんでも お気軽にご相談ください☆

日 時：1月30日(金)3月30日(月) * 12月はお休みです

13時30分～16時30分 (1人1時間)

場 所：東京都障害者福祉会館1階 相談室

対 象：東京都在住、在勤の方優先

主 催：東京都

相談料：無料 (予約制)

相談員：米澤敦子 (東京肝臓友の会 事務局長)

申込方法

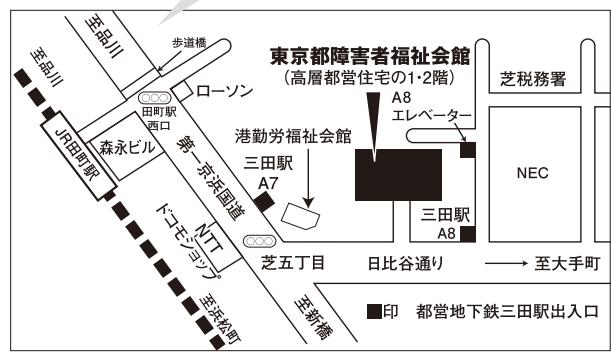
※電話でお申し込みください。

[申込先]都障害者福祉会館相談係

〒108-0014 港区芝5-18-2
☎ 03 (3455) 6321

【交通案内】

- JR「田町駅」西口徒歩5分
- 都営三田線「三田駅」出口A8 徒歩1分
- 都営浅草線「三田駅」出口A7 徒歩1分



本会報掲載の記事を転載する場合はご連絡ください。